

日本キャリア教育学会認定

キャリア・カウンセラー資格更新手続細則

- 第1条 日本キャリア教育学会認定キャリア・カウンセラー制度規則第7条の4に基づく資格更新を受けようとする者は、審査料を添えて所定の申請書類を資格認定委員会（以下認定委員会と称する）に提出しなければならない。
- 第2条 理事会は一定時期もしくは更新を希望するものが多数申請した時は、その旨を委員会に通知するとともに認定のための認定業務計画を示さなければならない。通知及び連絡を受けた委員会は所定の手続きを経た更新希望者に更新に関する事項を通知するとともに、委員会の長は委員会を召集する。
- 第3条 委員会における審査、考査等の方法、手続きは委員会で別に定める申し合わせによるものとする。
- 第4条 更新審査料は1万円とする。
- 第5条 資格更新を受け、認定料を納付した者は本学会認定キャリア・カウンセラー名簿に登録されるとともに、規則第7条による認定証の交付を受ける。
- 付則1 本細則は、平成13年10月27日より実施する。
- (1) 平成17年3月27日改定（暫定措置）

日本キャリア教育学会認定

キャリア・カウンセラー資格更新の基準と手続き

- 第1 資格更新申請者は評価基準により70点以上の評点を得た上で、書類審査を受けることができる。
- 第2 評点は以下の基準で与えられる。ただし、C領域は30点以上とし、A～E合計70点以上でなければならない。
- 第3 各領域の配点は、満点をあらわしており、評価点については資格認定委員会の判断による。
- A キャリア・カウンセラー研修**
- (1) 資格取得後の本学会の「キャリア・カウンセラー養成研修講座」への参加
※講師：20点、受講者：10点（1回につき）
- B 研究・研修活動**
- (2) 資格取得後の本学会の「研究大会、セミナー研修講座」への参加並びに本学会地区部会の研究・研修会への参加（1回につき）
※講師：10点、研究発表者：10点、参加者・受講者：5点
- (3) 本学会の主として資格認定委員会が開催する「研修講座、特別講座等」（養成研修基礎講座、養成研修講座を除く）への参加
※講師：10点（1講座につき）、受講者：10点（2講座180分につき）
- (4) 資格取得後の文部科学省、都道府県教育委員会などの主催するキャリア教育、進路指導・カウンセリング等の研究会・研修会への参加（1回につき）
※講師：10点、研究発表者：10点、参加者・受講者：5点
- (5) 資格取得後の日本進路指導協会、全国中学校進路指導連絡協議会、全国高等学校進路指導連

絡協議会等の研究・研修講座への参加（1回につき）

※講師：10点、研究発表者：10点、参加者・受講者：5点

(6) 資格取得後の本学会が認める学会への参加（1回につき）

研究発表者・シンポジスト等：10点（進路指導関連のテーマ）

参加者・受講者：5点

(例) 日本カウンセリング学会、日本教育心理学会、日本産業カウンセリング学会、日本心理学会、日本発達心理学会、日本産業カウンセラー協会、日本教育カウンセラー協会 など

(7) 資格取得後、大学、大学院、短期大学において「キャリア・カウンセリングに関わる単位を履修した場合、2単位につき10点。なお、同上大学において聴講生・履修生として、同上の単位を履修した場合にも同等の扱いとする。

C 実践研究

(8) 資格取得後、大学・短期大学等でのキャリア・カウンセリングに関わる講義・演習を担当：1年間で10点（キャリア教育、進路指導、カウンセリング、生徒指導、特別活動）

(9) 資格取得後、中学校、高等学校における進路指導主事（進路指導主任）及び、各種学校、大学、短大等でキャリア教育、進路指導、就職指導を担当：1年につき10点

(10) 資格取得後、学校、教育相談所（センター）、企業あるいは行政機関等の相談機関におけるカウンセリング経験（専任）：1年につき10点

(11) 資格取得後の(8)(9)(10)にあてはまらないキャリア・カウンセリングの実践（中学・高校の担任の経験、大学生、専門学校生、社会人等のキャリア教育、進路指導・進路相談等）：ケースレポート等具体的な内容を提出し、その内容に応じて10点から50点の範囲で評価が与えられる。

D 研究・執筆活動

(12) 資格取得後のキャリア教育、キャリア・カウンセリングに関する著書（ただし単著に限る）40点

(13) 資格取得後のキャリア教育、キャリア・カウンセリングに関する著書、翻訳書（申請をする者が主として執筆をした部分に対して認定される） 図表を含む 4,000字以上の場合を5点とし、以降4,000字を越えるごとに5点を加算。

(14) 資格取得後の学術誌等に、審査を経て掲載されたキャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わる研究論文・実践報告 20点 ただし共同執筆の場合は15点

(15) 資格取得後の学校・研究所等の紀要や報告書などに、無審査で掲載されたキャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わる研究論文・実践報告 10点 ただし共同執筆の場合は5点

(16) 資格取得後、キャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わるテーマで修士論文を執筆し、修士の資格を取得したもの 30点

(17) 資格取得後、キャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わるテーマで博士論文を執筆し、博士の学位を取得した者 40点

E その他

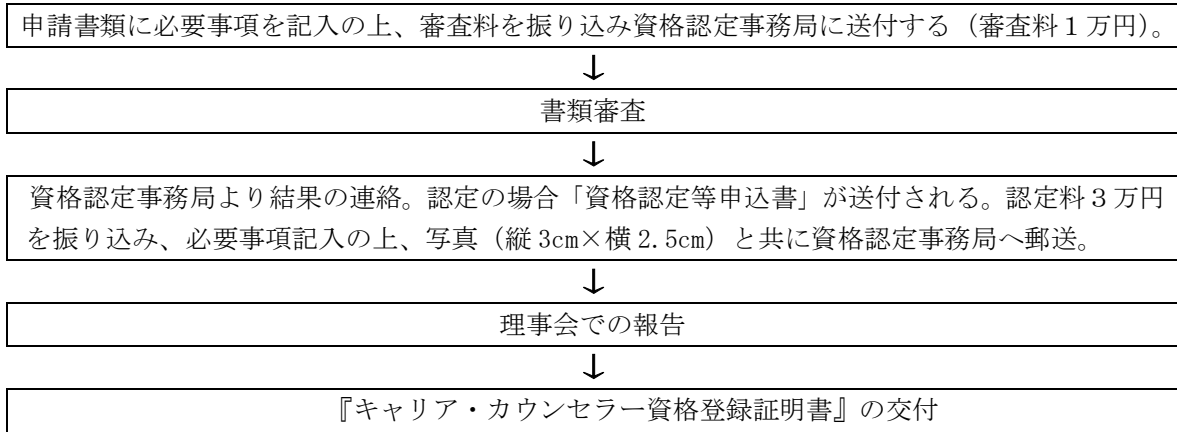
(18) 資格取得後、文部科学省、都道府県教育委員会等における進路指導、カウンセリング、生徒指導、特別活動等に関する「手引書や指導資料」の作成協力、進路指導・カウンセリング等に関する指導業績や履歴は、その寄与度に応じて10点から20点の範囲で評価が与えられる。

第4 資格認定委員会における書類審査に合格した者はキャリア・カウンセラーの資格が更新される。

日本キャリア教育学会認定キャリア・カウンセラー

資格更新申込要領

【申込から認定までのスケジュール】



資格認定申請書等記入方式

（「日本キャリア教育学会認定キャリア・カウンセラー資格認定の基準と手続き」に基づく。）

【記入注意事項】

- ※各項目について、できる限りそれらを証明できる資料を添えてください。（コピー可）
- ※それぞれの記入欄以上に記入事項がある方は、特にキャリア・カウンセリング、進路指導に関わるものを中心に選択して記入してください。
- ※「※点」の欄は資格認定委員会で記入しますので記入しないでください。
- ※各項目について、できる限りそれらを証明できる資料を添えてください。（例：講座修了証、委嘱状、論文コピー、在職証明書 など）
- ※添付資料には番号を付し、表中「資料NO.」の欄にその番号を記入してください。

申請書類その1

- ① 必要事項を記入して下さい。
- ② 学会IDは、学会からの郵送物の住所欄にある4桁の数字です。

申請書類その2

- ① 学歴は認定時の最終学歴と、それ以降の追加分を記入して下さい。
- ② 職歴は認定時のものと、それ以降の追加分の主たるものを記入して下さい。特にキャリア教育、進路指導、カウンセリング関係（進路指導主事など）の履歴を記入して下さい。

※記入欄不足の場合は用紙をコピーし、添付してください。

申請書類その3

A キャリア・カウンセラー研修

- (1) 本学会の「キャリア・カウンセラー養成研修講座」への参加
受講講座：受講講座の詳細を記入して下さい。
講座修了証のコピーを添付して下さい。
講師経験：講師経験詳細欄を記入下さい。

資料は講座修了証、講師依頼文章、大会・セミナープログラム等のコピーを添付して下さい。

申請書類その4～7

B 研究・研修活動

- (2) 本学会の「研究大会、セミナー研修講座」への参加並びに本学会地区部会への参加
研究会等の名称(発表テーマ等):資格認定後に参加したものに限り。第何回の大会、セミナー、地区部会かを記入、また講演、発表のテーマ等も記入して下さい。
年月:大会、セミナー、地区部会の年月
参加形態:講師、研究発表者、参加・受講者のいずれかを記入
- (3) 本学会の主として資格認定委員会が開催する「研修講座、特別講座等」(養成研修講座を除く)への参加
講座名の名称:受講した講座名を記入して下さい。
受講年度:講座受講年度を記入して下さい。
資料は講座修了証(コピー)を添付して下さい。
- (4) 文部科学省、都道府県教育委員会などの主催するキャリア教育、進路指導・カウンセリング等の研究会・研修会への参加
研究会等の名称(発表テーマ等):資格認定後に参加したものに限り。主催団体名、研究会名、研究会、研修会のテーマ等、発表者に関しては発表テーマを記入して下さい。
年月:研究会、研修会の年月
参加形態:講師、研究発表者、参加者・受講者のいずれかを記入。
- (5) 日本進路指導協会、全国中学校進路指導連絡協議会、全国高等学校進路指導連絡協議会等の研究・研修講座への参加
研究会等の名称(発表テーマ等):資格認定後に参加したものに限り。主催団体名、研究会名、研究会、研修会のテーマ等、発表者に関しては発表テーマを記入して下さい。
年月:研究会、研修会の年月
参加形態:講師、研究発表者、参加者・受講者のいずれかを記入。
- (6) 本学会が認める学会への参加
研究大会、セミナー等の名称、学会名:資格認定後に参加したものに限り。主催学会名、大会、セミナー等の名称を記入。
年月:大会、セミナー等の年月
参加形態:研究発表者・シンポジスト等、参加者・受講者のいずれかを記入。
- (7) 「キャリア・カウンセリング」に関わる単位の履修
資格認定後に履修したものに限り。単位を履修した大学等名称、講義・演習の名称及び担当指導者名(わからない場合は空欄)
単位:単位数を記入して下さい。
年月:単位を履修した年月を記入して下さい。

申請書類その8～9

C 実践研究

- (8) キャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わる講義・演習を担当:資格認定後に参加したものに限り。
大学等名称、講義・演習名称
年数:年数を記入して下さい。
年月:期間を記入して下さい。
- (9) 中学校、高等学校における進路指導主事(進路指導主任)及び大学などのキャリア教育、進路指導、就職指導担当:資格認定後の実践に限り。期間と年数を記入して下さい。

- (10) 学校、教育相談所(センター)、企業あるいは行政機関等の相談機関におけるカウンセリング経験(専任)：資格認定後の実践に限る。学校・教育相談所・企業等相談機関名、期間、年数を記入して下さい。
- (11) その他の実践：資格認定後の実践に限る。
具体的な内容を記入。詳しくは添付資料に記入すること。添付資料の形式は問わない。資料が複数の場合は“資料No.”を付ける。

申請書類その9～11

D 研究・執筆活動

- (12) キャリア教育、キャリア・カウンセリングに関する著書(ただし単著に限る)
資格認定後のものに限る。発行年、書名、出版社を記入。
- (13) キャリア教育、進路指導、カウンセリング等に関する著書(共著を含む)、編書(共編を含む)
資格認定後のものに限る。
年：発行年を記入して下さい。
題目名：担当章、節の題目を記入して下さい。
書名：書名を記入して下さい。
p p：担当のページ、及びページ総数を記入して下さい。
出版社：出版社を記入して下さい。
執筆者数：執筆者数を記入して下さい。
- (14) 学術誌等、審査を経たキャリア教育、進路指導・カウンセリング等に関する研究論文・実践報告
資格認定後のものに限る。
年：発行年を記入して下さい。
単著・共著：その区分を記入して下さい。
題目名：題目を記入して下さい。
書名・論文集名：書名・論文集名を記入して下さい。
p p：担当のページ、及びページ総数を記入して下さい。
発行者：発行者を記入して下さい。
執筆者数：執筆者数を記入して下さい。
- (15) 学校・研究所等の紀要や報告書等、無審査のキャリア教育、進路指導・カウンセリング等に関する研究論文・実践報告：資格認定後のものに限る。
年：発行年を記入して下さい。
単著・共著：その区分を記入して下さい。
報告・題目名：報告・題目名を記入して下さい。
書名・論文集名：書名・論文集名・報告書名を記入して下さい。
p p：担当のページ、及びページ総数を記入して下さい。
発行者：発行者を記入して下さい。
執筆者数：執筆者数を記入して下さい。
- (16) 資格取得後、キャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わるテーマで修士論文を執筆し、修士の学位を取得した場合
修士論文テーマ、大学院名、執筆年度を記入して下さい。
資料として論文のコピーを添付いただいても結構です。コピーが困難な場合は、表紙と目次のコピーのみでも可。
- (17) 資格取得後、キャリア教育、キャリア・カウンセリングに関わるテーマで博士論文を執筆し、博士の学位を取得した者

申請書類その11

E 文部科学省、都道府県教育委員会等への協力・業績

(18) 文部科学省、都道府県教育委員会等への協力・業績：資格認定後のものに限る。

年月：年月を記入して下さい。

具体的な内容：具体的な内容（手引書の作成等）を記入して下さい。

対象：文部科学省、各都道府県、市町村教育委員会、学校名等を記入して下さい。

その他特記事項

キャリア教育、進路指導、カウンセリングに関わることで、特に特記事項がある方は記入して下さい。

「申請書類その1」の裏面に審査料の振込金受領書コピーを貼ってください。

付則1 平成19年10月27日 一部改正